

67 花粉発生源対策の推進

【 5 5 3 (1 1 7) 百万円 】

対策のポイント

花粉症の緩和に向け、スギ林の植替え及び植替えに必要な花粉症対策苗木の供給拡大を加速化させます。

< 背景 / 課題 >

- ・近年では国民の3割が罹患し国民病とも言われている花粉症は、医療費の支出、労働生産性の低下等国民経済上のマイナス要因となっています。
- ・スギの花粉症対策苗木の供給量は平成17年度の9万本から平成25年度には201万本と約22倍に増加していますが、スギ苗木供給量全体に占める花粉症対策苗木の割合はまだ約1割という状況です。
- ・このため、花粉症の緩和に向け、花粉症対策苗木の更なる供給増大を図るとともに、山元での植替えを促進することが必要です。

政策目標

スギの花粉症対策苗木の供給量
(201万本 (平成25年度) → 1,000万本 (平成29年度))

< 主な内容 >

1. 花粉発生源の植替えの促進 1 1 9 (1 9) 百万円
 - (1) 花粉症対策苗木への植替えの促進 [新規] 1 0 0 (-) 百万円

花粉発生源となっているスギ林において花粉症対策苗木への植替えを促進するため、スギの加工業者等が行う森林所有者への働きかけ等を支援します。
 - (2) スギ・ヒノキ花粉飛散量推定等の推進 1 9 (1 9) 百万円

スギ・ヒノキの花粉発生源推定のための雄花着生状況調査及び実証調査を実施します。また、森林所有者等に対し、花粉発生源対策に係る普及啓発活動を実施します。

(補助率：定額)
(事業実施主体：民間団体)

2. 花粉症対策苗木の需要・供給の拡大 4 3 4 (9 7) 百万円
 - (1) 生産体制の整備 8 1 (2 7) 百万円

花粉発生源対策採種園等の整備
花粉症対策品種等の苗木の生産を目的とした採種園等の造成・改良等を推進します。

種子の生産拡大及び流通促進 [新規] 3 3 (-) 百万円
都道府県等が行う人工交配に関する技術研修及び人工交配作業を支援します。
また、他都府県へ種子を移出することを目的とした採取作業を支援します。

次世代苗木生産システムの構築 [新規] 2 8 9 (-) 百万円
コンテナ苗を低コストで大量に供給する苗木生産施設等の整備を支援します。

(補助率：定額、1 / 2)
(事業実施主体：国、都道府県、認定特定増殖事業者、事業協同組合
農業協同組合、森林組合、民間団体等)

(2) 花粉症対策苗木の普及

コンテナ苗需要・供給の拡大 1 2 (1 0) 百万円
花粉症対策品種等のコンテナ苗の生産や利用の拡大を図りつつ、コンテナ苗を活用した伐採から再造林までの一貫作業システム普及のための協議会の設置・運営等を支援します。

花粉症対策苗木の供給拡大 1 9 (1 9) 百万円
花粉症対策品種等の優良種苗の供給拡大のために、全国各地で苗木生産者を対象とした技術研修、巡回指導を支援します。

花粉発生源対策促進事業 (農山漁村地域整備交付金で実施)
1 2 4 , 2 8 3 (1 0 6 , 6 5 0) 百万円の内数
花粉症対策苗木に対する需要の喚起を図るため、スギ人工林等の花粉発生源となっている森林を対象として、花粉発生源の立木の伐倒・除去及び花粉症対策苗木等の植栽に必要な経費の一部を支援します。

補助率 (国費率) : 定額、1 / 2
事業実施主体 : 都道府県、事業協同組合
農業協同組合、森林組合、民間団体等

(関連対策)

農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業

菌類を活用したスギ花粉飛散防止液の高度化と実用的な施用技術の開発
5 , 6 1 0 (5 , 2 3 8) 百万円の内数

スギ花粉飛散防止剤の製品化や効果的な散布手法の開発等、スギ花粉の飛散防止技術の実用化に向けた研究を推進します。

平成26～28年度、委託費
委託先 : 国立研究開発法人森林総合研究所等

お問い合わせ先 :

1 の事業	林野庁森林利用課	(0 3 - 3 5 0 1 - 3 8 4 5)
2 (1) 、	2 (2) 、	の事業
	林野庁整備課	(0 3 - 3 5 9 1 - 5 8 9 3)
2 (2) の事業	林野庁整備課	(0 3 - 3 5 0 2 - 8 0 6 5)
2 (1) の事業	林野庁研究指導課	(0 3 - 6 7 4 4 - 2 3 1 2)
関連対策	技術会議事務局研究推進課	(0 3 - 6 7 4 4 - 7 0 4 4)

【背景 / 課題】

スギ花粉症は国民の3割が罹患しているといわれており、花粉発生源対策の推進が必要。

これまで少花粉スギ等の花粉症対策品種の開発・生産拡大等に取り組んできたが、スギ苗木供給量全体に占める花粉症対策苗木の割合はまだ約1割という状況。

【対策のポイント】

花粉症の緩和に向け、スギ林の植替え及び植替えに必要な花粉症対策苗木の供給拡大を加速化。

1. 花粉発生源の植替えの促進

- スギの加工業者等が行う森林所有者への働きかけ等を支援

伐って花粉症対策苗木に植え替えましょう。



- 花粉発生源推定のための調査
- 花粉発生源に係る普及啓発活動



2. 花粉症対策苗木の需給拡大

- 採種園等の造成・改良等
- 人工交配による種子の生産拡大
- 優良種子の流通促進
- コンテナ苗生産施設等の整備を支援



- 花粉症対策品種等のコンテナ苗の生産や利用の拡大に取り組む協議会を支援



- 生産技術習得・向上の取組を支援



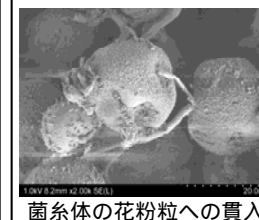
- 花粉症対策苗木に対する需要の喚起を図るため、花粉発生源の立木の伐倒・除去及び花粉症対策苗木等の植栽を支援



【関連対策】

スギ花粉飛散防止剤の製品化や効果的な散布手法の開発等

[農林水産・食品産業科学技術研究推進事業]

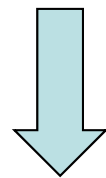


散布液により枯死した雄花

【目標】

スギの花粉症対策苗木の供給量

201万本
(平成25年度)



1,000万本
(平成29年度)